備後教区報

第179号
2022(令和4)年10月24日

ご縁を慶び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生 850 立教開宗 800

CONTENTS

◇御誕生850年・立教開宗800年　関連情報
◇50年前の法要を振り返る
◇前期勤式研修会『新制 御本典作法』
◇News＆活動情報
◇予報・インフォメーション

50年前の法要をふり返る

▲1973（昭和48）年
親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750年慶讃法要

御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要 関連情報

現在、**団体参拝二次募集**並びに**個人参拝**の受付が行われております。宗派公式ウェブサイトにて毎日更新されております各参拝日の空席状況を事前にご確認いただき、お電話にて参拝センターへ直接お問い合わせください。

仮申込みを済ませた後、書面による本申込手続きを行っていただきます。

※詳細は、宗派公式ウェブサイトにてご確認ください。

① 宗派の公式ウェブサイトへ
（https://www.hongwanji.or.jp/）
➡ 法要特設ページ　へ
（https://www.hongwanji.or.jp/850800houyou/）
➡ 団体参拝＜二次募集＞・個人参拝募集枠（空席状況）のお知らせを閲覧

空席を確認する

＜第1期＞

	3月29日（水）	3月30日（木）	3月31日（金）	4月1日（土）	4月2日（日）	4月3日（月）
午前の座（午前10時～）	60	55	156	45	×	28
午後の座（午後2時～）	77	44	266	102	×	49

＜第2期＞

	4月10日（月）	4月11日（火）	4月12日（水）	4月13日（木）	4月14日（金）	4月15日（土）
午前の座（午前10時～）	80	143	77	×	1	×
午後の座（午後2時～）	3	15	×	×	×	×

＜第3期＞

	4月24日（月）	4月25日（火）	4月26日（水）	4月27日（木）	4月28日（金）	4月29日（土）
午前の座（午前10時～）	99	28	46	31	36	－
午後の座（午後2時～）	×	×	11	48	96	

＜第4期＞

	5月6日（土）	5月7日（日）	5月8日（月）	5月9日（火）	5月10日（水）	5月11日（木）
午前の座（午前10時～）	－	－	91	×	×	×
午後の座（午後2時～）			×	×	×	×

② お電話にて参拝センターへお問い合わせ
（TEL：０７５－３６６－５８８２）
➡「仮申込み」をします

③ 書面にて本申込み手続き
➡「個人参拝申込書」 あるいは
「団体参拝申込書＜二次募集＞」を記入し
参拝センターに提出してください

《関連事業》

真宗十派からなる真宗教団連合の記念事業として、このたび「親鸞聖人生誕８５０年特別展　親鸞―生涯と名宝」が京都国立博物館にて開催されます。親鸞聖人の求道と伝道の生涯を、自筆の名号・著作・手紙をはじめ、彫像・御影・絵巻など浄土真宗各派が所蔵する法宝物を一同に集めての展示会です。この機会、ご本山での慶讃法要参拝に併せて是非ご観覧ください。

展覧会名　親鸞聖人生誕850年特別展「親鸞－生涯と名宝－」
850th Anniversary Special Exhibition
SHINRAN The Life and Legacy of the Founder of Shin Buddhism

会　場　京都国立博物館　平成知新館【東山七条】

期　間　２０２３年３月２５日（土）～５月２１日（日）
※休館日　月曜日

展示品紹介（一部）
国宝　親鸞聖人像（安城御影副本）
国宝　教行信証（坂東本）
重文　善信聖人親鸞伝絵（高田本）

観覧料　一般当日　1800円（1600円）
大学生　1200円（1000円）
高校生　700円（500円）
中学生以下は無料
（　）内は前売り料金

※真宗十派の門徒割については取扱いや申込方法を現在参拝センターに確認中です

50年前を振り返る

1973（昭和48）年 親鸞聖人御誕生800年 立教開宗750年 慶讃法要

▲法要は、前期（3月17日～3月26日）、中期（4月9日～4月15日）、後期（5月19日～5月21日）の3期20日間にわたって盛大に営まれた

▲本願寺会館前の様子

▲全国園児大会（5月18日）、保育園、幼稚園児が集まりお祝いした

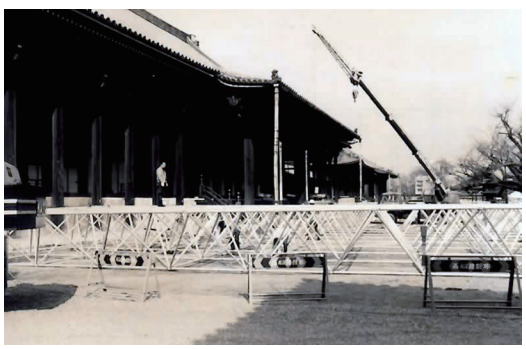
▲慶祝ムードいっぱいの総門付近の装飾

▲白洲の様子

いよいよ親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要が2023（令和5）年3月29日（水）より5月21日（日）まで5期30日間にわたって厳修される。

慶讃法要の特集記事②として、1973（昭和48）年に厳修された御誕生800年・立教開宗750年慶讃法要を振り返る。写真は本願寺、教区内寺院より提供をいただいた。また教区報等に掲載されている当時の記事をもとに、教区、寺院での法要を紹介する。（文責・教区報編集員）

前回の御誕生800年・立教開宗750年慶讃法要は、前期（3月17日～26日）、中期（4月9日～4月15日）、後期（5月19日～月21日）と3期20日間にわたって盛大に営まれた。この期間、備後教区より2，867人が参拝した。



左の2枚の写真は、法要に向けて準備が進められる様子。掛け座の組み立てと障子の張替え。

光照ご門主ご親修によるお勤め

Looking back 50 years ago

かつて、教務所事務所は芦田組明浄寺（現・立神義昭住職）に置かれていたが、昭和41年に深津組光善寺（現・苅谷友之住職）に移った。その頃より本願寺備後会館（旧館）の建設計画が進められ、昭和46年10月25日に竣工式が執り行われた。昭和49年11月9日に、親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750年慶讃法要並びに本願寺備後会館落成慶讃法要が、大谷光照ご門主（当時）ご親修のもと執り行われ、午後から福山市民会館にて記念式典が開催された。

▲備後会館（旧館）起工式（左上、光善寺本堂）

▲会館落成慶讃法要後の記念写真

▲福山市民会館にて開催された記念式典

▲福山市民会館にて開催された記念式典

▲三浦洸一さんによる歌謡ショー

▲記念式典に向けての準備が進められる

慶讃法要に向けて制定された運動方針

宗門の運動展開大綱

一、趣旨

親鸞聖人降誕八百年をめざして、真実信心の友の輪を拡げ、わが宗風を発揮するため、門信徒会運動を推進する。

二、運動スローガン

1、浄土真宗の教章を体得しよう！

2、みんなそろって聞こう、読もう、語ろう！

3、日々家庭で仏参、月々お寺に参詣、年に一度はご本山へ！

4、躍進しよう！大谷本廟ご造営完遂の年！

三、運動推進の骨子

1、浄土真宗の教章による伝道の推進

2、降誕会修行の奨励

3、本山参拝の促進

4、話しあい法座活動の実践と充実

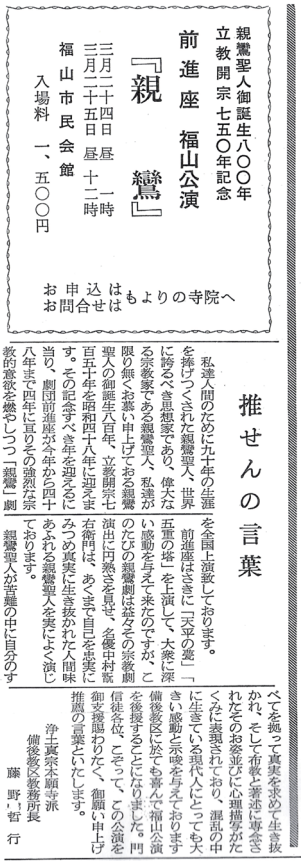
5、運動推進者の育成と実働強化

6、教化推進協議会の活動推進

7、教化活動の財的基盤の確立

8、本願寺新報、大乗の倍加促進

教区では慶讃法要に向けての記念行事として、昭和46年3月24日、25日の両日、福山市民会館にて前進座による『親鸞』が上演された。入場料は1，５００円であった。（教区報第29号より）



親鸞聖人御誕生八〇〇年
立教開宗七五〇年記念
前進座　福山公演
『親　鸞』
三月二十四日　昼　一時
三月二十五日　昼十二時
福山市民会館
入場料　一、五〇〇円
お申込はもよりの寺院へ
お問合せは

推せんの言葉

私達人間のために九年の生涯を全国上演致しております。
を捧げつくされた親鸞聖人、世界
前進座はさきに「天平の甍」「五重の塔」を上演して、大衆に深く誇るべき思想家であり、偉大な宗教家である親鸞聖人、私達が限り無くお慕い申上げておる親鸞聖人の御誕生八百年、立教開宗七百五十年を昭和四十八年に迎えます。その記念すべき年を迎えるに当り、劇団前進座が今年から四十八年まで四年に亘りその強烈な宗教的意欲を燃やしつつ「親鸞」劇
親鸞聖人が苦難の中に自分のすべてを掛って真実を求めて生き抜かれ、そして布教と著述に専念されたそのお姿並びに心理描写がくみに表現されており、混乱の中に生きている現代人にとっても大きい感動と示唆を与えております
備後教区に於ても喜んで福山公演を後援することになりました。門信徒各位、こぞって、この公演を御支援賜わりたく、御願い申上げ推薦の言葉といたします。

浄土真宗本願寺派
備後教区教務所長
藤野哲行

Looking back 50 years ago
寺院での活動紹介

希待講演会
（お待ち受け法要）

希待講演会で聴聞の大原和上

親鸞聖人御誕生八〇〇年
立教開宗七五〇年
希待講演会盛会

去る五月七、八、九日深津組専
明寺において、親鸞聖人御誕生八〇〇年、立教開宗七五〇年を期して、大原性実勧学（竜大名誉教授）大原亮厳司教（竜大教授）を招待
講演会の企画、開催の意図が語られ、本願寺歴史図入りの親鸞聖人のご生涯等、親切な案内状となっている。
「原田住職談」
お蔭様で三日間満堂でした。成功を願ってバスを運行、送迎しました。私の感動したのは二人の先生の熱情、特に大原和上が卒先、余間で聴聞されたことです。

深津組専明寺では、昭和46年5月7日～9日まで、慶讃法要を期して希待講演会が開催された。大原性実勧学、大原亮厳司教を招待しての講演会は3日間満堂であった。
（教区報第31号より）

御調東組浄泉寺では、昭和50年4月1日～4日まで、御誕生800年・立教開宗750年並びに浄泉寺開創450年慶讃法要が大谷光照ご門主（当時）ご親修にて執り行われた。
（写真提供　御調東組浄泉寺）

3期20日間にわたっての法要には、備後教区より2，８６７名が参拝した。写真は三谿組参拝団。
（写真提供　三谿組照善坊）

前期勤式研修会

9月6日（火）、本願寺備後教堂にて前期勤式研修会を開催した。講師に本山式務部法式儀礼専門職主管の淺井宣祥師にお越しいただき、この度の慶讃法要にて依用する新たな作法として制定された『新制 御本典作法』について本願寺声明の歴史とともにお話いただいた。（要約）

▼本願寺声明の歴史

本願寺派の声明は、いずれの時代も大原魚山声明を範として伝承されてきた。

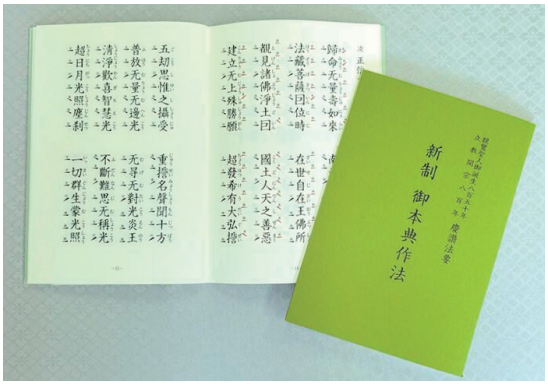
宗祖親鸞聖人は、第3代天台座主・慈覚大師円仁より始まる『引聲阿弥陀経』という長大な音曲を相承したことを銘記する系譜である「引聲念佛血脈譜」に名が記されている。

また、聖人の実弟である尋有僧都も、「魚山声明相承血脈譜」に名前が記されるほどの声明家であった。このことからも、聖人御自身が魚山声明に精通する存在であったことをうかがい知ることができる。長い歴史の中でこれまで幾多の改変を経て今に至るのである。

▼新制 御本典作法について

この度の『新制 御本典作法』は、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要をお迎えするにあたり、「顕浄土真実教行証文類」（教行信証）を中心に、脈々と受け継がれてきたみ教えと伝統が、次代へと継承されていくことを願い制定された。伝統的なものと新しいものを融合、聴く・唱えるという視点も重視して、全体の音域や旋律が構成されている。

とくに、作法中の「正信念仏偈」では、第二種として従来の十二礼の節を用いるとともに、第一種では、元来、天台声明において大衆唱和に用いられた「十二礼和讃譜」といわれる節をもとに和讃譜が採譜された。



ご本山でも、この第一種と第二種を併用して慶讃法要がお勤めされる予定だ。教区や組、一般寺院においても今後は2種類の節から選択することができる。

聖人以降、先人方がお勤めしてきた伝統的な声明の旋律や節回しの一端を復活させる声明を意識するとともに、僧俗ともに唱えることができる大衆唱和の両面を備えた作法である。

▼慶讃法要に向けて

来年3月からのご本山での慶讃法要ではもちろんのこと、今後、教区や組でお迎えする慶讃法要にて、この度の作法を依用する機会は増えてくる。各寺院へは経本とCDが配布されており、宗派公式ウェブサイトでも音源データを聞くこともできる。聖人の御誕生をお祝いするとともに、今この私に至り届くみ教えに感謝するご法縁として、ご一緒にお勤めさせていただきたい。

今年5歳を迎える息子が、2年ほど前に幼稚園へ入園した頃の話です。通い始めてからというもの、あっという間に色んな言葉を覚えてきました。そして覚えたて（？）であろう言葉を家でも披露してくれます。例えば、夫婦で会話をしている時に、「その可能性もあるよね」と割って入ってきたり、あるいは夫婦で相談をしていると、「ん〜、慎重に考えてみるとね…」と一緒に解決を図ろうとすることも。さらには、「子どもってそういうもんだよ」などと開き直るようなセリフまで使います。まるで大人が使うような言葉です。考えてみると、きっと幼稚園だけでなく私たち夫婦や周りの大人の会話にも耳を澄ませていたのでしょう。同時期、自我も芽生えてきたのか、なかなか言うことを聞いてくれないことも増えてきました。まさに、「子どもってそういうもんだよ」と聞こえてきそうですが。

時にはキツく叱ってしまい泣かせてしまうこともあります。後になって少し言い過ぎたかなと反省することもしばしばです。

仏法愛楽味

青年布教使による法話
第6回

沼隈西組大東坊
那須 智雄

「せっかく生まれたのに」

ある日、キツめの雷を落としてしまったことがあり、しばらく泣きじゃくった彼がふとこんな一言をこぼしました。

「…せっかく生まれたのに」

これには堪えました。何でそんなに怒られなくちゃいけないの？といった程度の意味で言ったのでしょう。けれど私たち夫婦にとっては、息子としっかり向き合っているつもりでも、どこかただの自己満足であったり、こちらの都合で感情的になってしまっているだけなのでは？　と考えさせられる一言でした。

しかし、そんな親としての至らなさもどこ吹く風、彼はケロッと機嫌を直しすぐに甘えてきてくれます。「お父さん」と抱きついてくる彼を受け止めるたびに、まだまだ親としても未熟であることを思い知らされます。

「親は子どもに育てられる」

「子どもが親にしてくれる」

そんな言葉を聞いたことがあります。息子はどんなに泣きじゃくっても間もなく「お父さん」と呼びかけてくれ、抱きつき、寄り添ってくれます（今のところは…）。

「親としてこの子を決して見捨てない」。そんな私の思いを知ってか知らずか、彼は私を、「お父さん」と受け入れてくれているようです。見返りや条件を求めず、いま目の前で私が父親になれるよう促すかように、また互いの成長を喜ばせてくれる存在である彼と共に過ごしていると、仏さまのことを連想することがあります。

「せっかく生まれたのに」

息子がこぼした言葉。仏さまはまるで、「せっかく生まれた命、迷わせるわけにはいかん」と言わんばかりに、この命の往き先をきっちりと定めてくださいました。

この迷いの境界を生き抜いた末の命の往き先は、南無阿弥陀仏と一つとならせていただけること間違いなし、と。その道は既にご用意されていました。この事実を聞かせていただくのがお聴聞です。

私が息子の姿を通して仏さまを思わせていただけたのは、きっとお聴聞のおかげでしょう。どうぞ、お互いにお聴聞を重ねさせていただきませんか。

News & 活動情報

布教団　三次で青年布教大会

9月4日（日）、三次組西覺寺（伊川文雄住職）のご協力のもと、会所秋季彼岸会法要に併せて備後教区布教団青年布教大会を開催した。『「伝える伝道」から「伝わる伝道」へ』をテーマに、第1席目 金岡恒宣団員（御調東組金剛寺）、第2席目 佐藤知水団員（中組光榮寺）が実演を行い、まとめの法話を安部惠証副団長（三次組善照寺）から頂き、会所お同行と共々にお念仏のみ教えを聴聞するご縁となった。

ビハーラ　連絡協議会・活動団体・活動者のつどい

「心に寄り添う」コロナ禍の活動

9月5日（月）、本願寺備後教堂にて、ビハーラ備後研修協議会、活動団体・活動者のつどいを開催し、12名が参加した。新型コロナウイルス感染症並びに台風接近の影響により中止となってから3年ぶりの開催となった。前半は、「『心に寄り添う』コロナ禍での活動（孤独と向き合う）」と題し、近藤一也（安芸教区賀茂東組元浄寺前住職）先生を講師に迎え研修協議会を開催した。

昨今の新型コロナウイルスによる人々の不安を題材の一つとしつつ、自らの人生と苦しみとは何かという点に注目しつつ、ビハーラ活動における傾聴の姿勢や重要性を学んだ。

後半は、ビハーラ備後の会員を対象にビハーラ活動を行うなかでの課題やそれぞれの思いを語り合う活動者のつどいを講師も同席いただき開催した。

教区月報

8月（August）

2日　広報伝道部会
11日　教堂常例法座
18日　第30回真宗講座
22日　門徒総代世話人会（中止）
31日　教区重プロリーダー研修会（オンライン）

9月（September）

1日　第4連区門徒推進員連絡協議会
4日　青年布教大会（三次組西覺寺）
5日　ビハーラ研修協議会・活動者連絡協議会
6日　前期勤式研修会
7日　第4連区議長・組長代表・教務所長協議会（～8日）（於 塩屋別院）
8日　ご縁づくりサポーター連絡協議会・少年連盟指導者研修（ご縁づくり公開講座併催）
9日　法式法務専門委員会
11日　教堂常例法座
12日　同朋社会部会
16日　常備会
18日　千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要（オンライン配信）

子ども・若者ご縁づくり

サポーター連絡協議会

9月8日（木）、本願寺備後教堂にて、子ども・若者ご縁づくりサポーター連絡協議会を開催した。宗派や教区での動きについて事務局より報告の後、各組サポーターからの現況報告を受けて、今後の推進について意見交換を行った。新型コロナウイルス感染症拡大により、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、寺院においても子ども会やサマースクール等の行事開催が難しい状況は今なお続いている。コロナ以前のつながりを絶やすことなく、また新たなご縁をつなぎ深めていくためには今何ができるのか、アフターコロナも見据えた今後の課題である。

▲加藤大地住職のバルーンアートショーに拍手喝采

少年連盟

バルーンアート研修

9月8日（木）、教区少年連盟と子ども・若者ご縁づくり推進委員会共同で公開講座を行った。「バルーン住職のバルーンアートショー」と題し、加藤大地（四州教区今治組常高寺住職）先生を講師に迎え、30名が参加した。新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりの開催となった。

前半は、イベント会場や幼稚園、介護施設等で披露されているバルーンショーを観覧した。後半は、バルーンの基礎を学びつつ、初めての方でもできるようバルーンアートのワークショップを行った。

今後の予定

20日　教堂責役総代会
21日　おつとめ教室・勤式練習会
22日　門推世話人会
26日　全国保護司研修会（福岡）
29日　第4連区青年布教使研修会（～30日）（広島別院）

10月（October）

3日　平和のつどい　第2回実行委員会
7日　環境問題現地学習会（三原市）
11日　教堂常例法座
12日　法要委員会
12日　組長会
18日　連研のための研究会
19日　おつとめ教室・勤式練習会
20日　仏婦寺婦実践運動研修会
21日　第26回　平和のつどい（マービーふれあいセンター）
26日　臨時教区会
28日　重点プロジェクトリーダー協議会
29日　第4連区仏壮会員研修会（～30日）（山陰）

第4連区　各教区代表で協議会

9月8日（木）、四州教区担当のもと本願寺塩屋別院にて、第4連区教区会議長・組長代表・教務所長協議会が開催され、当教区より田坂潤教区会議長、立神義昭組長代表、岡嵜秀恵教務所長が出席した。新型コロナ感染症感染対策を講じたうえで、2年ぶりの現地参集での開催となった。協議会では、各教区からの提案された、賦課基準の見直しや宗門DX化推進について、また布教伝道の強化など、多岐にわたり意見交換が行われた。

全戦没者追悼　第42回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

9月18日（日）、東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において、「全戦没者追悼法要」が勤修された。新型コロナウイルス感染症の状況により来賓や参拝者は制限されたが、当日の模様は宗派公式YouTubeチャンネルにてライブ配信がなされた。

本願寺備後教堂では、自宅の参拝が難しい方々に対し、教堂本堂にて参拝可能なように視聴環境を整えた。

実践運動　現地で実行委員会

10月3日（月）、現地下見をかねた平和のつどい第二回実行委員会を開催した。

今年の会場は、倉敷市真備町の「マービーふれあいセンター」で、備後教区の平和のつどいとしては今年で第26回を迎える。

来る10月21日（金）には全戦争犠牲者追悼法要と共に広島県被爆者団体協議会理事長の箕牧智之先生を招き、「ひろしま原爆被爆者の叫び―念仏者として―」を講演いただく予定だ。

当日の進行の流れを確認すると共に、平和への思いを再確認しながら準備をすすめた。

11月（November）
1日　門徒総代会研修会（第一会場　神石高原町）
2日　門徒総代会研修会（第二会場　三次市照善坊）
7日　同朋社会部会
8日　ビハーラ実践学習会（寿園相扶園）
11日　教堂常例法座
16日　おつとめ教室・勤式練習会
22日　仏婦おみがき
30日　教堂報恩講・寺号公称50年記念式典

12月（December）
3日　門徒推進員聞法会（備中里組浄心寺）
6日　青年布教使研修会
11日　教堂常例法座
19日　門推員念仏奉仕団（～20日）
23日　同朋講座
28日～1月8日　教堂休館日

1月（January）
11日　教堂常例法座
18日　おつとめ教室・勤式練習会
23日　憲法を考える研究会
28日　仏教壮年会セミナー（～29日）（安芸教区）

布教団

第4連区青年布教使研修会

9月29日（木）～30日（金）、安芸教区の引き受けにて本願寺広島別院を会場に第4連区青年布教使研修会が開催された。

本研修会が対面形式で開催されるのは実に3年ぶり。

このたびは、青年布教使と同世代の方に仏教に親しんでもらい、お寺に参拝いただくことを目的に事前予告動画の作成に各教区ごとに取り組み、研修会の2週間前からユーチューブ配信が行われた。

29日の実演では備後教区より枝廣大智団員（深津組崇興寺）が予告動画を受けてお取り次ぎされた。続く30日には、岩本孝樹・布教団連合同朋研修講師、松崎智海・布教使課程専任講師よりそれぞれのテーマに沿って講義をいただき、参加者にとって実のある研修会となった。

▲▼言葉で伝えるだけではなく、動画を使いながら行った

常例法座

出講者（敬称略）（毎月11日）

10月「お浄土の風」
福山市　善正寺　那須英信

11月「馬の耳にも念仏」
福山市　崇興寺　枝廣慶樹

12月「声となって私を救う」
世羅町　善行寺　真澄慎一

1月「もう、間に合っています」
福山市　大東坊　那須智雄

得度許可

おめでとうございます

【敬称略】

沼隈西組　正圓寺
寶諸　純子（釋純笙）

神石組　光福寺
佐武　昭男（釋清昭）

世羅組　照光寺
脇本　一真（釋一真）

（令和4年6月15日付）

敬弔

お悔み申し上げます

【敬称略】

世羅組　正満寺　住職
島津　惠心（8月1日寂）

三次組　蓮光寺　衆徒
桑名　哲英（8月24日寂）

深津組　専明寺　住職
原田　淳誠（9月22日寂）

沼隈南組　光照寺　前坊守
季平　アサエ（10月18日寂）

香典返礼

ありがとうございます

三次組　蓮光寺　様

●発行所　備後教区教務所
〒720-0052
福山市東町2-4-5
●発行人　教務所長　岡嵜秀恵
●編集　教区報専門委員会

備後教区 今後の予報 Information

作曲家　平田聖子の世界
親鸞が音楽で現代に蘇る。

数々の仏教音楽の作曲をてがける平田聖子先生のコンサートが、このたび福山市にて開催されます。備後教区教務所も後援させていただく運びとなり、教務所にてチケットの取り扱いを行っております。この機会に是非ご来場ください。

と　き　２０２２年 **１１月１４日（月）**
13:15 会場　14:00 開演　15:30 終了

ところ　広島県民文化センターふくやま
福山市東桜町 1―21　℡ 084-921-9200

チケット料金　3,500 円（全席指定）

※チケット購入に関する留意事項
・チケット購入並びに受け渡しには直接教務所へ来所ください。
・チケットの予約・取り置き、払い戻しは対応いたしかねます。

本願寺備後教堂 報恩講法要 寺号公称５０年記念

本願寺備後教堂は、昭和 47 年 6 月 7 日に「本願寺」寺号公称をご許可いただいて以来、備後における伝道教化の拠点として、今年で 50 年の節目を迎えます。
今日まで、教堂を支えてくださった有縁の方々と共々に、お念仏のみ教えにであわせていただいたことを喜び、その喜びを伝えていただく機縁として親鸞聖人のご苦労を偲ぶ報恩講に併せて本願寺備後教堂寺号公称 50 年記念式典・記念行事を実施いたします。

２０２２（令和４）年 **１１月３０日（水）**　会場　本願寺備後教堂

１０時～　本願寺備後教堂　報恩講法要
１３時３０分～　本願寺備後教堂寺号公称５０年記念法要
１６時３０分～　本願寺備後教堂寺号公称５０年記念レセプション（於　福山ニューキャッスルホテル）

記念事業　・本堂外陣一部のカーペット化
・本堂内照明の LED 化　※その他館内設備の入れ替え等予定

編集後記

心地良い秋風が吹き抜ける本堂の縁。そこに腰掛けて、一人のご門徒と、大きな声で雑談をしていました。縁からは山門やお庭を眺めることができ、本堂の手前には手水舎（ちょうずや）があります。雑談中ふと手水舎の蛇口（竹製）に、一羽の鳥がとまりました。

長いくちばしで、蛇口から勢いよく出る水を何度も何度も、ついばむように飲みます。しばらくすると鳥が、蛇口から手水舎の水溜りに移動。羽を広げてバシャバシャと水浴びを始めました。

私「水浴びを始めましたね（驚）」
門「ハハッ、ほんまじゃ（笑）」
私「この鳥、逃げませんね」
門「人間がおるのに、会話もしとるのに、逃げんなぁ」
私「すごいですね」
門「お寺いうところは、こういう場所なんじゃろうなぁ。野鳥も安心して水が飲めて、水浴びが出来る場所。それがお寺なんじゃろうなぁ」

一羽の鳥の行動と、ご門徒の何気ない一言に、大切なことを気づかされました。ご本尊“なんまんだぶつ”を中心に、誰しもが安心できるお寺。

今、その伝灯があることを一羽の鳥が教えてくれように感じました。

背伸びせず、等身大で。（Z．Y）